



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月10日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8041 URL http://www.oug.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝田 昇
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営基盤グループ (氏名) 中江 一夫 TEL 06-4804-3033
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	74,138	△0.9	232	16.9	139	47.9	△24	—
29年3月期第1四半期	74,818	△0.9	198	—	94	26.9	80	253.8

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △194百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 406百万円 (△18.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△0.44	—
29年3月期第1四半期	1.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	78,136	20,564	26.3	372.64
29年3月期	72,656	21,087	29.0	382.31

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 20,564百万円 29年3月期 21,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金合計については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金合計は6円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	322,000	0.5	2,600	△1.7	2,100	△2.4	1,500	△13.9	271.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	55,622,921株	29年3月期	55,622,921株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	437,462株	29年3月期	463,150株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	55,177,000株	29年3月期1Q	54,999,395株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当及び業績予想について）

当社は、平成29年6月29日開催の第71回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 1. 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 6円00銭 年間配当金合計 6円00銭
- 2. 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 27円19銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の回復には、個人消費など一部に足踏みがみられるものの、企業収益、雇用・所得環境、生産活動は総じて堅調であり、全体として緩やかな回復基調にありました。消費者心理は、日用品を中心に節約志向が依然として続き、回復には足踏みがみられます。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物は国際競争の激化などにより、調達コストが高水準で推移し、販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は74,138百万円（前年同四半期比99.1%）となりました。損益面では、売上総利益は5,535百万円（前年同四半期比101.1%）となり、営業利益232百万円（前年同四半期比116.9%）、経常利益139百万円（前年同四半期比147.9%）、親会社株主に帰属する四半期純損失24百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益80百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、取扱数量は増加したものの販売単価の低下より売上高47,267百万円（前年同四半期比99.0%）となり、間接経費全般の節減に努めましたが売上総利益率の低下によりセグメント利益221百万円（前年同四半期比82.6%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、販売単価は上昇したものの販売数量の減少により売上高26,895百万円（前年同四半期比99.1%）となり、売上高の減少によりセグメント損失103百万円（前年同四半期はセグメント損失100百万円）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、売上高1,725百万円（前年同四半期比95.8%）となりましたが、生産コストの改善による売上総利益率の上昇によりセグメント利益110百万円（前年同四半期はセグメント損失8百万円）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、売上高1,131百万円（前年同四半期比90.3%）となり、原材料価格の上昇などによりセグメント損失14百万円（前年同四半期はセグメント損失7百万円）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、取扱い数量の減少により売上高515百万円（前年同四半期比97.9%）、セグメント損失13百万円（前年同四半期はセグメント損失3百万円）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高1,317百万円（前年同四半期比96.0%）、セグメント利益27百万円（前年同四半期比66.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて5,480百万円増加し、78,136百万円となりました。主な要因は、たな卸資産の増加6,577百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて6,003百万円増加し、57,572百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加3,087百万円、借入金の増加2,832百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて523百万円減少し、20,564百万円（自己資本比率26.3%）となりました。主な要因は、配当金の支払333百万円などによる利益剰余金の減少357百万円、その他有価証券評価差額金の減少186百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,137	2,318
受取手形及び売掛金	27,524	26,174
商品及び製品	19,575	26,138
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	316	330
その他	1,213	1,309
貸倒引当金	△133	△129
流動資産合計	50,634	56,141
固定資産		
有形固定資産	10,790	10,713
無形固定資産	2,836	2,643
投資その他の資産		
投資有価証券	7,348	7,437
その他	1,455	1,608
貸倒引当金	△409	△408
投資その他の資産合計	8,394	8,637
固定資産合計	22,021	21,994
資産合計	72,656	78,136
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,711	20,799
短期借入金	17,370	20,500
1年内返済予定の長期借入金	1,788	1,707
未払法人税等	465	172
賞与引当金	693	332
その他	3,553	4,399
流動負債合計	41,583	47,910
固定負債		
長期借入金	5,906	5,691
退職給付に係る負債	2,579	2,556
役員退職慰労引当金	124	122
その他	1,374	1,291
固定負債合計	9,985	9,661
負債合計	51,568	57,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,090
利益剰余金	6,690	6,333
自己株式	△88	△83
株主資本合計	19,188	18,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,546	2,360
繰延ヘッジ損益	6	5
土地再評価差額金	△356	△356
退職給付に係る調整累計額	△297	△281
その他の包括利益累計額合計	1,899	1,729
純資産合計	21,087	20,564
負債純資産合計	72,656	78,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	74,818	74,138
売上原価	69,340	68,603
売上総利益	5,477	5,535
販売費及び一般管理費	5,279	5,303
営業利益	198	232
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	81	88
その他	59	69
営業外収益合計	141	158
営業外費用		
支払利息	56	51
無形固定資産償却費	181	181
その他	7	17
営業外費用合計	245	250
経常利益	94	139
特別利益		
固定資産売却益	—	18
特別利益合計	—	18
税金等調整前四半期純利益	94	157
法人税、住民税及び事業税	153	268
法人税等調整額	△140	△86
法人税等合計	13	182
四半期純利益又は四半期純損失(△)	80	△24
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	80	△24

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	80	△24
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	287	△186
繰延ヘッジ損益	△12	△0
退職給付に係る調整額	50	15
その他の包括利益合計	325	△170
四半期包括利益	406	△194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	406	△194
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	45,416	26,433	1,325	459	228	73,864	953	74,818	—	74,818
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,328	707	475	792	298	4,602	418	5,021	△5,021	—
計	47,745	27,140	1,801	1,252	526	78,467	1,372	79,839	△5,021	74,818
セグメント利益 又は損失(△)	268	△100	△8	△7	△3	147	41	189	8	198

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額8百万円には、セグメント間取引消去337百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△328百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	45,208	26,006	1,284	500	227	73,227	911	74,138	—	74,138
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,058	889	440	630	288	4,307	406	4,713	△4,713	—
計	47,267	26,895	1,725	1,131	515	77,535	1,317	78,852	△4,713	74,138
セグメント利益 又は損失(△)	221	△103	110	△14	△13	199	27	226	5	232

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額5百万円には、セグメント間取引消去332百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△327百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。